

## まずは、身のまわりのものの名前を漢字にしてみる

ここまでお読みいただいた方には、幼児期から楽しみながら漢字を学ぶことが、お子さんの知能の発達、そして内面的な成長にも素晴らしい効果をもたらすことは、十分にご理解いただけたことと思います。

ただ、いざお子さんにも漢字を、と考えると私も漢字にあまり強いほうではないし、とても子どもに教える自信なんてないわ」と、尻ごみされる方も多いのではないのでしょうか。

そんな方でも、心配には及びません。石井式の漢字学習は、漢字カードや絵本を使って、あくまでも遊びとして楽しみながら進めていくものですから、先生役をつとめる方に、特別な知識や技術は必要ありません。

むしろ「漢字にはあまり自信はないけれど、ちょうどいい機会だから、私も子どもと一緒にやってみようかしら」くらいの楽々気持ちではじめられたほうが、結果として、お子さんの漢字に対する興味を、より自然な形で引き出すことにもつながるのです。

では実際に、家庭でどんなふうに漢字学習をはじめたらよいかというと、まず、家の中にある電話、時計、机、椅子、花瓶、冷蔵庫、洗濯機、下駄箱といった、お子さんが日頃からよく目にしているものに、たとえば電話には“電話”と漢字で書いた紙を作って貼ってみるといいでしょう。

そして「あっ、電話が鳴ってるね、誰からかな」「時計は今何時かな」「冷蔵庫からジュースを出そうね」というように、会話の中で、できるだけその漢字を意識させるように指差しながら話してあげると、お子さんは「ああ、これはデンワって読むんだな」と白然に覚えてしまいます。

ただ、ここで注意したいのは、家の中をいくら漢字でいっぱいにしても、最初に何度か読んであげただけで、あとは貼りっぱなしというのでは、壁のシミと同じで、あまり効果はないということです。

一度読めても、子どもの頭の中に言葉としてしっかり定着するには時間かかりますから、お母さんは面倒臭がらずに、できるだけ何度もくり返して読んであげるようにしてください。